

研修カリキュラム

合計130時間

項目	科目	
1 職能の理解 (6時間)	(1)多様なサービスの理解 (2)介護職の仕事内容や働く現場の理解	
2 介護における尊厳の 保持・自立支援 (9時間)	(1)人権と尊厳を支える介護 (2)自立に向けた介護	
3 介護の基本 (6時間)	(1)介護職の役割 (2)介護職の職業倫理 (3)介護における安全の確保とリスクマネジメント (4)介護職の安全	
4 介護・福祉サービスの 理解と医療との連携 (9時間)	(1)介護保険制度 (2)障害者総合支援制度及びその他の制度 (3)医療との連携とリハビリテーション	
5 介護におけるコミュニ ケーション技術 (6時間)	(1)介護におけるコミュニケーション (2)介護におけるチームのコミュニケーション	
6 老化の理解 (6時間)	(1)老化に伴うこころとからだの変化と日常 (2)高齢者と検討	
7 認知症の理解 (6時間)	(1)認知症を取り巻く状況 (2)医学的側面から見た認知症の基本と健康管理 (3)認知症に伴うこころとからだの変化と日常 (4)家族への支援	
8 障害の理解 (3時間)	(1)障害の基礎的知識 (2)障害の医学的側面、生活障害、心理・行動の特徴、かかわり 支援等の基礎的知識	
9 こころとからだのしく みと生活支援技術 (75時間)	基本知識の学習 (10～13時間程度)	①介護の基本的な考え方 ②介護に関するこころとからだのしくみと基礎的理解 ③介護に関するこころとからだのしくみと基礎的理解
	生活支援技術の 講義・演習 (50～55時間程度)	④生活と家事 ⑤快適な住環境整備と介護 ⑥整容に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護 ⑦移動・移乗に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護 ⑧食事に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護 ⑨入浴・清潔保持に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護 ⑩排泄に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護 ⑪睡眠に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護 ⑫死にゆく人に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護
	生活支援技術演習 (10～12時間程度)	⑬介護課程の基礎的理解 ⑭総合生活支援技術
10 振り返り (4時間)	(1)振り返り (2)就業への備えと研修終了後における継続的な研修	

(注1)カリキュラムとは別に1時間以上の修了評価(筆記試験)を行うこと

護